

## 中小企業経営者の 景気実感について

- 経営者7割の実感は「停滞」、「悪化」も1割

現在続く景気拡大は戦後3番目の長さとなっているが、賃金や消費の伸びが小さいことなどから、これまでの主な拡大期に比べ、一般生活者に景気回復の実感が乏しいと言われる。

それでは、中小企業経営者の景気実感はどうか、アンケート調査で探ってみた。

調査時点：2017年7月上旬（3日～7日）

調査対象：大阪シティ信用金庫取引先企業  
（大阪府内）

調査方法：聞き取り法

依頼先数：1,400社

有効回答数：1,301社

有効回答率：92.9%

有効回答内訳：下の表のとおり

業種	実数	構成比
製造業	484社	37.2%
卸売業	189	14.5
小売業	117	9.0
建設業	237	18.2
運輸業	107	8.2
サービス業	167	12.9
計	1,301	100.0

従業者	実数	構成比
10人未満	810社	62.3%
10～49人	434	33.3
50人以上	57	4.4
計	1,301	100.0

# 1. 景気実感とその理由

## (1) 景気の実感

- 「停滞」が70.9%

はじめに、自社の仕事の状況を踏まえ、現在の景気をどのように実感しているか、すべての企業に聞いた結果が第1表 - (1)である。

全体として見ると、「停滞」を実感している企業が70.9%で最も多く、「回復」を実感している企業は19.3%しかない。一方、「悪化」を実感している企業も9.8%あった。

業種別に見ると、「回復」を実感している企業は建設業が30.8%で最も多いのに対し、小売業は12.8%で最も少ない。

従業員規模別に見ると、「回復」を実感している企業は規模が大きくなるほど多く、10人未満の16.0%に対し50人以上では33.3%となっている。

1年前の調査と比べてみると、「悪化」を実感している企業が18.5ポイント減少したものの、「回復」を実感している企業は1.7ポイントの増加にとどまり、ほとんど増えていない。

以上のとおり、中小企業の景気実感は「停滞」が7割、「悪化」が1割で、「回復」は2割にも届かず、現在の景気拡大は中小企業では実感が伴っていないと言えよう。

第1表 - (1) 景気の実感

(%)

区分		項目	回復	停滞	悪化	計
業 種 別	製 造 業		18.8	72.7	8.5	100.0
	卸 売 業		13.8	75.6	10.6	100.0
	小 売 業		12.8	67.5	19.7	100.0
	建 設 業		30.8	61.2	8.0	100.0
	運 輸 業		15.9	72.9	11.2	100.0
	サービ ス業		17.4	75.4	7.2	100.0
規 模 別	10人未 満		16.0	71.5	12.5	100.0
	10～49 人		23.5	71.7	4.8	100.0
	50人以 上		33.3	57.9	8.8	100.0
全 体			19.3	70.9	9.8	100.0
(2016年7月調査)			(17.6)	(54.1)	(28.3)	(100.0)

(2) 回復を実感する理由

- 「収益が増加」が 84.5%

前項で、現在の景気について「回復」を実感している企業(251社、19.3%)に対し、それは具体的にどのような理由からか、複数回答で聞いた結果が第1表 - (2)である。

全体として見ると、「収益が増加しているから」と答えた企業が84.5%で圧倒的に多い。中小企業経営者の景気実感は、自社における現実の収益状況が大きく影響するものと思われる。

このほか、「商談が増加するなど見通しが明るいから」が35.5%となっており、「販売価格が強含みになっているから」とする企業も18.7%あった。

第1表 - (2) 回復を実感する理由

(複数回答、%)

区分	項目	収益が増加している	商談増加など見通しが明るい	販売価格が強含み	その他
業種別	製造業	84.6	37.4	16.5	0
	卸売業	84.6	38.5	26.9	0
	小売業	86.7	6.7	20.0	0
	建設業	86.3	45.2	19.2	0
	運輸業	88.2	17.6	17.6	0
	サービス業	75.9	27.6	17.2	3.4
規模別	10人未満	83.1	34.6	16.9	0.8
	10~49人	87.3	34.3	16.7	0
	50人以上	78.9	47.4	42.1	0
全体		84.5	35.5	18.7	0.4

(3) 悪化を実感する理由

- 「収益が減少」が 75.6%

前項で、現在の景気について「悪化」を実感している企業(127社、9.8%)に対し、それは具体的にどのような理由からか、複数回答で聞いた結果が第1表-(3)である。

全体として見ると、やはり「収益が減少しているから」と答えた企業が75.6%でとくに多くなっている。次いで、「販売価格が弱含みになっているから」と答えた企業が32.3%あり、依然続くデフレの傾向に苦しんでいる企業の多いことがうかがえる。また、「商談が減少するなど見通しが暗いから」とする企業が26.8%となっている。

なお、これらから、多くの企業が現在の景気を「停滞」と実感している理由は、「収益が改善しないから」が主で、そのほか「販売価格を上げられないから」、「先行きに明るさが感じられないから」などであろうと推察される。

第1表-(3) 悪化を実感する理由

(複数回答、%)

区分		項目	収益が減少している	販売価格が弱含み	商談減少など見通しが暗い	その他
業種別	製造業		68.3	39.0	26.8	4.9
	卸売業		90.0	50.0	20.0	0
	小売業		100.0	8.7	4.3	4.3
	建設業		36.8	47.4	52.6	5.3
	運輸業		75.0	25.0	33.3	8.3
	サービス業		91.7	8.3	33.3	8.3
規模別	10人未満		74.3	29.7	25.7	3.0
	10~49人		85.7	42.9	33.3	9.5
	50人以上		60.0	40.0	20.0	20.0
全体			75.6	32.3	26.8	4.7

## 2. 景気の前想と懸念事項

### (1) 景気の前想

- 「停滞傾向」が72.5%

今後1年程度の景気をどのように前想するか、すべての企業に聞いた結果が第2表 - (1)である。

全体として見ると、「停滞傾向」と前想する企業が72.5%で圧倒的に多く、「回復傾向」と前想する企業は21.4%と2割程度にとどまる。一方、「悪化傾向」と前想する企業も6.1%あった。

これを冒頭1.(1)の現在の景気実感と比べてみると、「回復傾向」が2.1ポイント増え景気はわずかながら改善前想が強まったものの、「停滞傾向」も1.6ポイント増えている。

業種別に見ると、「回復傾向」と前想する企業は建設業が30.8%で最も多いが、冒頭1.(1)で現在の景気を「回復」と実感している企業と同割合にとどまっている。

一方、「悪化傾向」と前想する企業は小売業で12.0%あり、唯一1割を超えている。

第2表 - (1) 景気の前想

(%)

項目		回復傾向	停滞傾向	悪化傾向	計
区分					
業種別	製造業	21.3 (18.8)	73.7 (72.7)	5.0 (8.5)	100.0
	卸売業	16.4 (13.8)	76.2 (75.6)	7.4 (10.6)	100.0
	小売業	17.9 (12.8)	70.1 (67.5)	12.0 (19.7)	100.0
	建設業	30.8 (30.8)	64.6 (61.2)	4.6 (8.0)	100.0
	運輸業	18.7 (15.9)	75.7 (72.9)	5.6 (11.2)	100.0
	サービス業	18.6 (17.4)	75.4 (75.4)	6.0 (7.2)	100.0
規模別	10人未満	18.5 (16.0)	73.6 (71.5)	7.9 (12.5)	100.0
	10~49人	25.8 (23.5)	71.0 (71.7)	3.2 (4.8)	100.0
	50人以上	29.8 (33.3)	68.4 (57.9)	1.8 (8.8)	100.0
全体		21.4 (19.3)	72.5 (70.9)	6.1 (9.8)	100.0

( )内は、現在の景気実感 : 「第1表 - (1) 景気の実感」の数字

## (2) 景気の懸念事項

- 「国内需要の低迷」が 66.8%

最後に、今後の景気回復を阻害する要因として、どのようなことを懸念しているか、すべての企業に複数回答で聞いた結果が第2表 - (2)である。

全体として見ると、「消費の冷え込みなど国内需要の低迷」と答えた企業が 66.8%でとくに多くなっている。経済は当分デフレ基調から抜け出せず、需要の低迷が続くとの見方が支配的なようだ。

次いで「人手不足」と答えた企業が 31.6%と多かった。このほか、外需の落ち込みを懸念する「外国経済の落ち込み」と答えた企業が 26.0%、「円高の進行」が 14.2%などとなっている。

第2表 - (2) 景気の懸念事項

(複数回答、%)

項目		国内需要の 低迷	人手不足	外国経済の 落ち込み	円高の 進行	とくになし
区分						
業 種 別	製 造 業	69.4	31.2	30.6	14.3	3.7
	卸 売 業	69.3	25.4	31.2	20.1	3.7
	小 売 業	60.3	21.4	16.2	11.1	10.3
	建 設 業	61.2	40.1	22.4	13.9	3.4
	運 輸 業	69.2	44.9	13.1	10.3	4.7
	サービス業	63.5	26.3	26.9	12.6	6.6
規 模 別	10人未満	67.2	27.3	24.3	14.2	6.4
	10～49人	66.4	38.2	28.3	13.6	1.6
	50人以上	64.9	42.1	31.6	19.3	3.5
全 体		66.8	31.6	26.0	14.2	4.7